

「図書館資料から紐解く我が国電気自動車開発の歴史」

第1部 「1940年代 日本の電気自動車開発、それは『たま』から始まった」 終了

第2部 「忽然と街頭から姿を消す電気自動車、一体何があったのか？」

令和5年11/11(土)～12/15(金) 今回開催

第3部 「環境問題やSDGsで、再び脚光を浴びる電気自動車」

令和6年2/19(月)～3/15(金)開催予定

Point 1

高い技術力と技能を有する
日本の技術者が戦後の混乱期に
高性能の電気自動車を
開発していた事実

Point 2

高性能の電気自動車が
10年ほどの期間で街頭から
忽然と姿を消してしまった理由

Point 3

科学・技術の継承や
技能の伝承の重要性

第1部の反響

新聞に記事が掲載されたことを受け、

「企画展」という学びの場で図書館員と市民の方々とのコミュニケーションの活性化

① 見学者からの質問

「『たま』号がどこで製造されていたのか」

「その場所は今どうなっているか」

資料を調査したがわからず

② 他の見学者が①に関連する資料を図書館に寄贈

その結果…

サイエンスコミュニケーションがもたらした図書館機能の充実 = 好事例

○レファレンス(質問・回答サービス)に必要な情報を準備できた

○図書館に新たな地域資料が収集・保存できた

そこで…

第2部

「忽然と街頭から姿を消す電気自動車、 一体何があったのか？」

第1部の資料に加え

① 1950年代の日本を取り巻く状況を整理したパネル

- ・1950年代に勃発した世界的大事件について
- ・日本の政治および経済情勢について

② 見学者から寄贈された『たま』号にまつわる資料

③ 上記①、②に関連する資料(図書、雑誌)

などを展示します。



画像出典：日産自動車(株)

※「たま号」の展示はありません



職業能力開発総合大学校
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)